

「有人輸送・有人宇宙活動サービス実現に向けた調査研究」 (宇宙戦略基金)

資料 2 - 2



宇宙戦略基金の創設及び有人輸送技術の戦略的推進を企図するこの機会に、有人輸送・有人宇宙活動サービス実現に向けた活動全般を支援するために、①最新動向調査、②ユースケース・サービス設計、③産業化に向けたシナリオ案の整理、④国内連携プラットフォーム構築支援などに向けて、「有人輸送・有人宇宙活動サービス実現に向けた調査研究」を実施する。

(補足) 宇宙戦略基金における調査研究は、「政策効果、市場拡大への寄与等を的確に把握するための調査や国内外の技術動向調査、新たな技術開発要素の探索のためのアイデア募集や調査研究、各府省への情報提供等を適時適切に行う。」などを目的とし、関係府省の確認後、ステアリングボードで決定する。

(1)最新動向等の整理

有人輸送・有人宇宙活動に関する技術開発・実証動向、標準・ルール動向、想定ユースケース等について、産業化・市場獲得等の検討に必要な最新動向を整理する。

・技術標準、安全基準類の調査(宇宙旅客輸送推進協議会(SLA)主導で実施。内閣府と情報共有)

(2)ユースケース・サービス設計

最新動向調査結果に基づき、全体ビジョンや国内外含めた想定ユースケースやサービス設計※等を検討・整理する。併せて、実現に際して必要と考えられる共通的な事業基盤や、協調／競争領域等の考え方等を整理する。

※想定ユースケースやサービス設計例:サブオービタル観光ビジネス、商業低軌道ステーション有人ビジネス、P2P旅客輸送ビジネスなど

(3)産業化に向けたシナリオ案の整理

日本の勝ち筋、産学官による目指すべき方向性の議論を取りまとめ、それを達成するための事業構築シナリオ案をまとめる。

(1)から(3)を推進するために、有人輸送・有人宇宙活動サービスに関する事業者間の情報共有・議論等を促進する**国内連携プラットフォーム※**を形成し、専門人材を育成しつつ、協調領域／競争領域の技術開発や事業の整理、戦略的に産業化の実現および市場獲得に資する場を構築する。

※国内連携プラットフォームは、関係府省、研究機関、民間事業者、SLA (JAXAと連携協定締結) 及びJAXAで構成する。

来年度より約3年間実施する。成果物は適宜とりまとめ、初回報告、中間報告及び最終報告をJAXA（宇宙戦略基金）及びSLAより宇宙開発関係府省へ実施する。
これらの成果は、JAXAの基金事業技術開発マネジメント、宇宙関連府省の基金テーマ設定、基金外の支援の検討、宇宙活動法などの法整備などへ活用するとともに、民間事業者の社会実装に向けた事業計画・戦略等へ活用する。

